



# 週報 パワー浜松ロータリークラブ

新しい流れを、知恵を集めて

RI 会長 シェカール・メータ/第 2620 地区ガバナー 小林聡一郎 /会長 高貝 亮 /幹事 山下俊彦  
〒430-7733 浜松市中区板屋町 111-2 オークラクトシティホテル浜松内 Tel:053-452-0800  
Email:info@power-hamamatsurc.jp http://www.power-hamamatsurc.jp  
創立：2002 年 10 月 22 日 認証伝達式：2003 年 4 月 29 日 スポンサークラブ：浜松中 R C



## 第875回例会12月7日(火)AM7:30~8:30

- 会場：オークラクトシティホテル浜松 3 階 チェルシーの間
- 司会：鷺津有一 青山素久
- 点鐘：高貝 亮 ■週報：中野雄介
- ロータリーソング：「それこそロータリー」（※音楽のみ）
- ゲスト：ムリアドリム(株)代表取締役、みどりの森の美術館主催伊藤みどり様  
米山記念奨学生 陳俊達さん

## 出席報告/スマイル報告

会員数 74 名 (内出席免除会員 4 名)  
出席数 55 名 出席率 78.57%

スマイル提出者氏名掲載  
・高貝会長、山下幹事  
・ロータリー情報委員会  
・金山土州さん  
・坂井光藏さん

## 会長挨拶



伊藤みどり様、本日は早朝より卓話にお越しいただきありがとうございます。  
本日卓話にきていただけるということで「みどりの森の美術館」のホームページや  
FACEBOOK を拝見したところ、加藤いつみさんの作品展を中心にアフガニスタンで  
活躍され、2 年前に亡くなられた中村哲さんにまつわるイベントが紹介されていて  
大変感銘を受けました。

2008年に同じくアフガニスタンでペシャワール会での活動中に亡くなられた  
伊藤和也さんが静岡県出身であることもあって、メンバーの中にもペシャワール会  
のことや中村哲さんに馴染みがある方が多いと思います。

医師として長年アフガニスタンでハンセン病の医療などに取り組まれ、その後は  
医療活動にとどまらず灌漑施設などのインフラ整備に尽力され、多くのアフガニスタンの方々に慕われてきた中  
村さんが、一昨年、現地で銃撃され亡くなられたことは大変衝撃的でした。

中村さんの活動こそは、ロータリアンの目標とする超我の奉仕を体現するものだったと思います。

国際的な人道活動で思い浮かぶもう 1 人の医師は、浜松中ロータリークラブの山口貴司さんです。

山口さんは、浜松医科大学の設立に際し、東京大学から新大学の立ち上げのために浜松に生まれ、その後浜松で  
開業されました。たまたま重い心臓病を患ったネパール人の若者の支援をされたことをきっかけに、日本に住む  
外国人の医療に取り組まれました。浜松外国人医療援助会を立ち上げ、浜松中ロータリークラブとともに 15 年  
にわたり無料の検診会を開催されました。

2006年にはご自身のクリニックを滝浪實さんに託してネパールにわたり足掛け 5 年に渡り現地で医療活動に  
従事されました。日本に戻られてからは、佐鳴台に外国人も気軽に受診できるよう土日もやっていて多言語の通  
訳対応もあるクリニックを開業されました。数年前には国際ロータリーから超我の奉仕賞を受賞されています。  
こうした偉大な先輩たちの活動に学んで、私たちも私たちのできる国際貢献、国際交流を考えてまいりたいと思  
います。

## 幹事報告

- ① ロータリーの友・ガバナー月信の 12 月号をレターケースに配布しました。
- ② 林 竹計さんが健康上の理由により 9 月 30 日をもって退会したいという退会届が提出され、11 月 30 日の  
役員理事会の承認をもって退会されました。
- ③ 12 月 21 日(火)にポールハリスフェローの表彰授与を行います。  
寄付が 1,000 \$ を超えるたびに授与されます。今回の対象者は 27 名です。
- ④ 次年度地区役員出向者  
地区青少年交換小委員会委員：リビー・ジョーセフ・マテューさん  
地区米山記念奨学委員会 副委員長：村田誠さん  
地区学友委員会委員：村田誠さん  
地区学友委員会委員：小澤邦比呂さん
- ⑤ 2022 年 2 月 27 日に予定しておりました IM(インターシティミーティング)は中止となります。

## ハッピーバースデー

鈴木孝尚さん、安間孝明さん、山下俊彦さん、小林昭次さん、坂神文仁さん

## 委員会報告

- 親睦委員会 来年1月11日(火)の例会は新年会(夜例会)になります。  
本日より出欠を取っております。来週、再来週も出欠を取ります。

## 議事

ムリアドリーム(株)代表取締役、みどりの森の美術館主催伊藤みどり様 卓話

### ■夢を追いかける～自分史を書いてみました～

浜松市生まれ浜松育ち  
ヤマハ株式会社に入社  
ヤマハリビングテック株式会社退社  
ヤマハ時代はピアノの工場見学や購買、総務、お客様相談室等

青年の船で中国、北京天津を訪問  
海外派遣ではヨーロッパを18日間ドイツとイギリスでホームステイをしながら目的物課題組合の女性部(出会い)  
5年に一度5連休

美術クラブに入る

三人目の先生の出会いにより本格的な絵の活動が始まる。  
東京(銀座・青山)・大阪・海外(仏・ニューヨーク・韓国・中国・バリ等)へと出品  
日本全国の神社巡り。(高千穂・天橋立・三輪山・大雪山等々)  
2011年、東日本大震災3.11が起こり、自分の命、やりたい事、やり残した事、現世に生まれた意味を考えるよう  
になりました。

2013年3月 ヤマハリビングテック(株)退社  
2014年1月 画廊みどりの森の美術館オープン

秋野不矩美術館・可睡斎やグランドホテル浜松・浜松秋葉神社等でも展覧会企画  
画廊でのエピソード

自分史を書いてみました。  
夢を追いかける

[薫のどうでもいい詩]の本 紹介  
12月企画 加藤逸美個展(中村哲氏を偲んで)

